

9月22日(水)

本年度第11回(通算2557回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『会員卓話 私の職業パート1』 担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数68名 免除13名 出席計算に用いた会員数68名】  
次回の報告とさせていただきます

☆ニコニコ献金(今年度累計 231,000円)

〈毎日「イクラ」をいただいております〉

〈結婚記念日ありがとうございます。いつの間にか23年目です〉

〈地曳網に子供たちが大喜びでした〉

〈浜中での松原さんの焼き肉奉行ぶりお見事でした〉

〈久しぶりに出席します。申し訳ございません〉

〈今日の担当委員長です。宜しくお願い致します〉

〈バースデイケーキをいただきました。ありがとうございます〉

〈これから頑張ります〉

三原克也君

泰地浩幸君

小松亮次君

川尻道子君

小野寺英夫君

石井東洋彦君

徳山淳一君

島田利明君

☆会長挨拶

皆さんこんにちは。先週の家族野遊会は、晴天の中多くの会員家族の皆様に参加をいただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。地引網では、思わぬマスの大漁に参加者全員歓声上がり、特に子供さん方にとりましては、貴重な体験をされたことと思います。おかげ様で、我家の食卓には、先週から毎日のようにイクラがメニューに加わっております。百枝親睦委員長はじめ、親睦委員の皆さんには大変お世話になりありがとうございました。心から御礼申し上げます。

さて、今日のプログラムは、高橋邦弘君と小野寺英夫君の卓話です。大変楽しみに拝聴させていただきますと思います。

☆幹事報告

- ① 麻薬・覚せい剤乱用防止センターよりニュースレターが届いております。回覧致しましたのでご覧ください。
- ② 厚岸RCと白糠RCよりプログラムのご案内と会報が届いております。回覧致しましたのでご覧ください。
- ③ オリコよりロータリーカードのご案内が届いております。当クラブでは6名の方が入会しております。入会希望の方は泰地までご連絡ください。内容は回覧致しましたのでご覧ください。
- ④ 飢餓の募金箱を後ほど各テーブルにまわしますので、ご協力お願い致します。



☆プログラム委員会  
委員長 石井東洋彦君

すでに職業奉仕委員会では、私の職業奉仕と言うことで、3分間スピーチをスタートしておりますが、プログラム委員会でも、今年度、三原会長方針に則って、会員卓話「私の職業」として4回ほど計画しております。

本日は、その第1回目で高橋邦弘会員と小野寺英夫会員に、それぞれ15分の会員卓話をお願いしております。それでは、宜しくお願い致します。



☆高橋邦弘 君

私の職業は一般名称は看板業ですが、昭和50年代になってから正式業種名が「広告美術業」となりました。昭和31年春に中学校を卒業して直ぐに、

看板店に住込みで弟子入りをしました。当時は各業種で、職人とよばれた人たちは皆、親方さんに弟子入りをして、技能を習得する事が普通でした。私が弟子入りをした看板店では、その年入社したのは私一人で、その後2年間弟子入りが無かったのと、非常に厳しい親方と、兄弟子3人の内、一人意地悪なのが居て、本当に辛い修行でした。遅くまで仕事をして、夕食の後、毎日毎日古新聞に文字書きの練習をしたものです。おかげ様で努力の甲あって、一応一人前になる事が出来ました。看板はどんな大きな文字も、どんな小さな文字も手書きです。文字はゴシック体を始め、どんな書体でも書く事が出来ますが、一番難しい書体は、日本筆で書く、楷書、行書等の文字です。当時私は、世の中がどんなに進んでも、機械で文字を書くことは出来ないと思っていました。

しかし昭和50年代に入ると、我業界にも次々と新しい材料と、機械化、コンピューター化が急速に進み、平成時代に入ると、筆での手書きは無くなってしまいました。苦労して習得した「一級技能士」の出番も無く、今は只の年寄りです。

しかし私の技能は文字書きの他に、開業して以来、大型看板の製作に伴い、鉄骨加工技能、プラスチック加工、FRP(樹脂積層)加工、展示会会場作りに伴う木工加工、パネル製作?の表具、陳列台や化粧品コーナー製作につながる店舗設計と施工等、多岐にわたる技能を習得しました。皮肉なことに、辛い修行で習得した技

能は、過去の遺物となってしまい、私の今の出番は、文字書き以外の技能です。そして病気になるて以来、体力の低下もあり、出番も随分と減りました。そんな訳で、今の私の心境は、日本占領軍マッカーサー元帥の言葉、「老兵は死なず、ただ去るのみ」です。寂しい限りです。



☆発表者  
小野寺英夫 君

今日は、私の職業と言うテーマで話して下さいと言う事で、ロータリーは断ってはいけないと言うことで、私の職業について、お話をさせて頂こうと思います。今、石井さんから、二足のワラジと言うご紹介をいただきましたが、私は、二足のワラジと言う言葉が苦手です。なぜかと言うと、私は競技ダンスをやっています。大会などに参加しますと、周りの選手は、ダンス1本の選手ばかりで、私が、他に会社もやっていることは、周りの選手も知っていましたから、当然、私に対して、たいした成績ではないだろうと言う目で見ます。そこで、私も意地がありますから、周りの選手より練習しまして、決勝まで行くような成績をとりました。ですから、私にとって、本業と本職の両方があり、どちらかではなく、どちらも大切なものであります。本業というのは、生業だから会社の方、本職というのは職人技ですので、ダンスの方と自分なりに線引きをしております。

さて、ロータリーの職業分類上の清掃業についてお話をさせていただきますと、清掃業は簡単に申しますとゴミの収集、ゴミを扱うと言う事になります。私が会社に入社したのが昭和52年、会社自体は昭和33年、私の親の時代に馬車組合が車を扱うのを契機に、7人で株を持ち寄りまして合資会社を作りました。私が入社した時には7名が3名にまで減っておりました。当時はゴミを扱う仕事はかなり厳しい状態でした。そんな中、先代の社長から会社を引き継ぎまして、今年で代表になり30年、会社自体も創業52年がたちました。当初は役所の仕事を中心でしたので利幅も少なかったのですが、その分、派手な事も無かったお陰で長生きしております。現在は、釧路市と釧路町の一般廃棄物の収集・運搬をしております。

最後にロータリーに入りまして「4つのテスト」に出会った事が、私の心の支えになっております。自分にとって誠実な仕事をする事が大切だと思っています。従業員にも、何か困っている事は無いかと、出来るだけ声を掛け、仕事の事は信頼し任せるようにしております。これからも、細く長く頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。